

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2023年度）

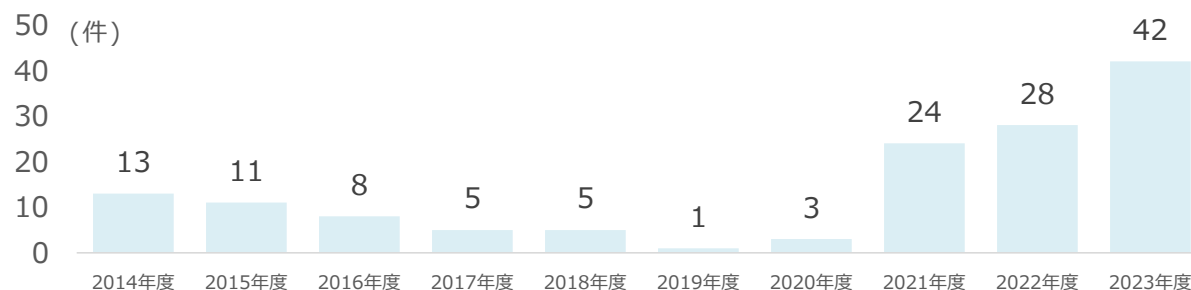
機関投資家向け説明会

| 開催時期 | 説明会名称 | 主な登壇者（説明者） |
|------|--------------------|----------------------|
| 5月 | 2023年3月期決算説明会 | 代表取締役社長、代表取締役副社長執行役員 |
| 6月 | 新中期経営計画説明会 | 代表取締役社長 |
| 11月 | 2024年3月期第2四半期決算説明会 | 代表取締役社長 |

機関投資家との個別対話

| 延べ対話社数 | 投資家概要 | 対応者 |
|--------|---------------------------------|--|
| 42社 | 国内外の機関投資家 (ファンドマネジャー、アナリスト等) | <ul style="list-style-type: none"> 代表取締役社長、企画担当取締役、企画担当執行役員 … 6件 IR担当(総務部) … 36件 |

【ご参考】
機関投資家との個別対話
年度別推移



◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2023年度）

対話の主なテーマや株主の関心事項

| 時期 | | 対話の主なテーマ | 年間テーマ件数 |
|-------------------|----------------|---|--|
| 2022年度 通期決算発表後 | 5月 ～ 6月 | <ol style="list-style-type: none"> 2022年度決算総括 EV化対応進捗 2023年度計画概要 |  |
| | | | |
| 第2四半期 決算発表後 | 11月 ～ 1月 | <ol style="list-style-type: none"> 通期計画達成可能論拠 EV化対応 上期決算概要（対計画差） | |
| | | | |

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2023年度）

対話を通じて気づき等を得られた内容

| | 主な内容 |
|----------------|--|
| 株主から気づきを得られた対話 | <ul style="list-style-type: none">・ こんなニッチ分野に強い会社があるとは知らなかった。自社を評価して欲しい部分をもっとアピールすべき。・ 株主還元やBSの効率化等、PL以外で出来る経営改善も進めるフェイズに来ていると思う。 |
| 株主の理解を得られた対話事例 | <ul style="list-style-type: none">・ 経営陣の変遷と業績動向・ ワイパーが独占的になった経緯・ グローバルニッチトップの位置づけ |

経営や取締役会へのフィードバック状況

| 内容 | 頻度 | 報告手法 |
|--------------------|------------------|-----------|
| 株主との対話実施状況／四半期報告 | 年4回 (2024年度～) | 取締役会報告、討議 |
| 投資家・アナリストコメント、レポート | 適宜 | メール等 |

◆ 株主との対話の実施状況等に関する開示（2023年度）

2024年度活動方針

| 項目 | 主な活動方針 |
|--------------------|---|
| 株主との対話の 主な対応者 | <ul style="list-style-type: none">・ 取締役、執行役員による説明、対話機会の充実 |
| 株主との対話充実に 向けた施策 | <ul style="list-style-type: none">・ 決算説明会コンテンツ改善（“当社の強み”動画放映による当社理解・認知度向上）・ 機関投資家向け工場見学企画・ 1on1面談機会の創出（証券各社等との連携強化）・ 海外投資家対応：各種開示文書の日英同時開示 |

株式会社フコクは、株主との対話に必要な基本サイクルである
「開示」→「機関投資家との対話」→「経営へのフィードバック」
を積極的に活用することで、
当社の企業価値向上と共に認知度・魅力度アップにも繋げてまいります。